# さらに役立つ

読者の皆さまからお寄せいただいた 声を誌面へと反映いたしました。

「畜産分野での労災事故の例や、その予防、 対策などを取り上げてほしい。 (128号アンケートへのご回答/鳥取県 カトリーネさんより) →本誌「これからの季節に備えて」(15ページ)にて反映



主要部品をステンレス化し、過酢酸系除菌剤(ビネパワー) に耐用した背負型の『動力噴霧機』です。付属のスプレーガン は、直射と広角射出を手元で自在に調節でき、細霧消毒用のノ ズルも付属しています。

製品寸法: 高さ623×幅360×奥行220mm

QRコードから「養牛資材紹介(2020年版)」 PDFがご覧いただけます。 ※「オルサス ライト」は2ページ

養牛資材紹介 2020年



### 【お問合せ先】 全農畜産サービス株式会社

TEL:03-5245-4871 URL: https://www.zcss.co.jp/

### 表紙写真

九十九里ファームグループ、はつらつ豚研究会、白楽天、 JAファーマーズブレイスの皆さんと関係者の皆さん

三浦康治/中尾山隆司/剱持和幸/澤明/佐藤哲誠/藤田和政 大畑博義/佐藤由治/泉瑞枝/出雲智子/江崎尚二/髙橋光 藤田勇気/児玉博士/関口美加/岩楯かをり/坪野佳奈子

JA全農畜産生産部推進·商品開発課 東京都千代田区大手町1-3-1 TEL03-6271-8236 FAX 03-5218-2526

編集協力/株式会社青丹社 デザイン/株式会社バンブー 撮影/氏家岳寬、竹田宗司 執筆/箱田高樹、今野靖人

校正/くすのき舎 印刷/大日本印刷株式会社



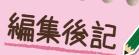
▶畜産農家で良かった!と思う瞬間を 教えてください。

▶読書の秋! おすすめの1冊を教えてく ださい。

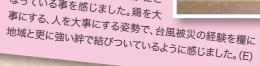
令和2年8月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます

### ビタミンAコントロール

牛肉にサシを入れるため、肥育中期に血中ビタミンA濃度を 低く保つ事。ビタミンAは脂肪前駆細胞が脂肪細胞に成長 (分化)するのを抑制するため、ビタミンAの制限により脂肪 細胞を増やす事ができる。ただし、ビタミンA濃度が低すぎ るとビタミンA欠乏症を引き起こすため、注意が必要である。



取材にうかがった千葉県の九十九 里ファームグループは、地域に根差 した事業の多角化を進める中で、地 元住民からも信頼される存在と なっている事を感じました。鶏を大







# 読者の広場

昨年に引き続き、今年もさまざまな災害が日本を 襲いました。ウイルスや暑さ、災害に負けないよう、 人も家畜も日々の備えが大切です。今回は夏の 畜舎管理などについてお聞きしました。

## ○地域の夏の風物詩を 教えてください。

- ■当組合管内の養鶏場は川の近くに立場してお り、ホタルが農場内から見える場所があります。 (山口県・鶏 瀬畑 敬文さん)
- ■花火上げ。

(宮崎県・和牛 下原 利治さん)

■今年は中止かもしれませんが、蔵王高原遠刈 田温泉の仮装盆踊りです。

(宮城県・和牛繁殖 ざおうさま)

# 「読者からひと言」。。。。。

- ■「128号の内容は台風に備える事について書か れていたので、他の自然災害などについても、ま た教えてもらえると助かります」 (宮城県・和牛繁殖 もあいさん)
- ■「キャトルセンターの優良事例を取り上げてくだ さい」
- (島根県・和牛肥育、子牛育成 肥育の連勤術師さん)
- ■「1年1産の牛づくりについて教えてほしい」 (長野県・黒毛和牛 近藤 明美さん)

### Q. 夏の畜舎の管理で特に 配慮されている点はありますか?

- ■7月に入り毎日多雨に悩まされ、畜舎も湿気が 激しく、乾燥する間がない。そのため、除湿・脱臭 剤を毎日散布実施中です。 (長崎県・和牛 豊坂 敏文さん)
- ■臭気や湿気の対策に重点を置き、除糞の回数 の増加、効率的な送風を行っています。 (京都府・肉用牛繁殖 株式会社いちがお畜産)
- ■扇風機の取り付け、敷料のこまめな交換です。 (宮城県・和牛繁殖 千葉 弘喜さん)

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。 「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

# 大きな目標に 全員で向かっていく

### 滋賀県立長浜農業高等学校



本校では、現在繁殖牛11頭、肥育·育成牛合わせて21頭の計32頭を飼養管理しています。 本校の飼育方法の特徴は、近江牛の育て方の特徴でもある稲わらを給餌するために毎年自 家採取している事や、生菌剤を手厚くする事で食いどまりなどを防止する事に努めています。 また、令和4年度に開催される第12回全国和牛能力共進会(鹿児島大会)の出品に向け、

県の畜産関係者の方々との連携を密に行い、学習に取り組んでいきます。

生徒が学ぶ校舎

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真は農場内ならOK。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気 軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は「〒100-6832 東京都千代田区大手 町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課/ちくさんクラブ21編集部」もしくは、eメール「zz\_zk\_chikusan\_club@zennoh.or.jp」まで。

31 ちくさんクラブ21 Vol.129 2020 8 ちくさんクラブ21 Vol.129 2020 8 30